

おもかわ
面川農場株式会社は、宮城県南部の米どころ角田市で、水稲52畝を経営している。
代表取締役のおもかわひろあき面川大明さんは大学院卒業後、東京の建築会社に勤務した後に親元就農し、今年で就農9年目になる。

面川さんは代々受け継がれている「田んぼに通った分だけ、コメはおいしくなる」をモットーに、顧客満足度の向上を一番に考えたこだわりの経営をしている。

土壌診断を毎年行い、ほ場に不足している成分をチェックするほか、イネの生育について地域の先輩農業者との情報交換も欠かさない。化学肥料と化学農薬の使用を県栽培基準の半分以下に減らして栽培し、調製したコメは低温倉庫で保管している。自社のホームページで定期販売も行っており、リピーターから「毎日食べたい!」と好評を得ている。

面川さんは「お客様が本当に求めるものを提供できるように努力している。美味しさを担保したコメを安定的に供給していくため、技術の向上と、お客様とのコミュニケーションや情報収集を通じて需要の動向を把握していきたい」と熱く語る。

収穫した稲を手にする面川さん



稲刈り作業中の面川さん



【記事提供】 角田市農業委員会